

# ダイヤゴナル継ぎワイヤー

## ダイヤゴナル継ぎの概要

ストレート継ぎは網目がロール軸芯に対して平行、直角の関係にあります。ダイヤゴナル継ぎはロール軸芯に対し斜めに傾斜(対角方向)しております。従来この継ぎ方は、高速化、大型化した抄紙機用ダンディロールの上網に採用されて来ましたが、その良さがシリンダーマシンにも取り入れられ、実績を出しています。

## ダイヤゴナル継ぎの特徴

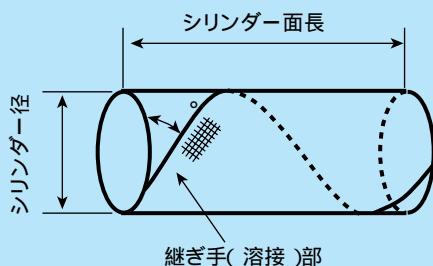
- (1) 網目が菱形(ダイヤ型)になるため、金網の汚れが少ない。
- (2) 継ぎ手は網目とほぼ同様な形状になり、更に、継ぎ目が斜めになるため継ぎ手マークの発生が少なく(網目の目詰まりが無い)、又、継ぎ手による紙切れが減少する。
- (3) 継ぎ手が細く、均一に溶接が出来るため、継ぎ手部と網部の剛性が等しく、従来発生しがちな、継ぎ手部の疲労切断が減少する。
- (4) 円筒状にしたワイヤーをシリンダーに挿入して、両端を外側に張り出して固定できる。(治具を使用する)
- (5) ワイヤーの取り付けが、容易であり、且つ、締め付けが確実に出来る。
- (6) 特殊な形取りをするため、ストレート継ぎに使用するワイヤー面積の約2倍の元網が必要となり、その分コスト高となる。
- (7) 作業上、ワイヤー取り付けはシリンダーの面長より2倍のスペースが必要になる。

## ダイヤゴナルワイヤーの主要品種と適用

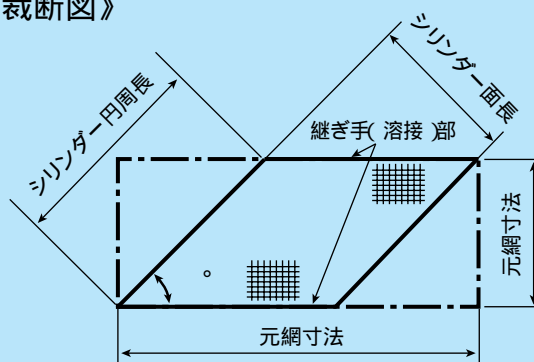
主要品種は下網SUS316 8m/s~20m/s、上網SUS316 30m/s~100m/sを使用し、ダンディロール、円網シリンダー、プレストロール、フォーミングロール等に適用されます。

## ダイヤゴナルワイヤーの使用図及び裁断図

《使用図》



《裁断図》



## ダイヤゴナルワイヤー取り付け

取り付けにあたっては弊社作成の冊子「ダイヤゴナルワイヤー取り付け方法」がございますのでご請求下さい。尚、取り付け作業のご要望があれば別途お引き受け致します。

ダイヤゴナルワイヤーの取付けは、あらかじめエンドレスに溶接したものを現地にて専用締め治具を使い取付けます。従って、従来のワイヤーの取付方法であるストレート継ぎ(現地にてキャンパスで締め付け溶接する)とは取付方法が異なります。